



Kimura Eye &amp; Int Med Hospital

# ひかりいっぱい新聞

**山川院長がウィーンの学会で発表** 院長 山川 良治

ESCRS2018 & EURETINA Photo Diary

子供の近視の進行抑制にバイオレットライト

第72回日本臨床眼科学会での講演 副院長 木村 格



## 山川院長が ウィーンの学会で発表

2018年9月19日から26日まで、オーストリアのウィーンで開催されたEURETINA2018(第18回欧州網膜専門家会議)、ESCRS2018(第36回欧州白内障・屈折手術会議)に行ってきました。

どちらも世界規模の学会でEURETINAは5千人以上、ESCRSは1万人以上の参加があります。今回、合同で開催され、会場のMesse Wien Exhibition Congress Centerはとても広く地下鉄1駅区間分はありました。

ヨーロッパで開催されるため、ロシア、トルコ、エジプト、ヨルダンなど日本には来られない国の演題があり興味深いものです。同時に最先端の眼科医療の演題や国内では未承認で見ることができない器械も展示してありとても有用でした。

ESCRSでの今回の発表は久留米大学からの演題でしたが、来年は木村眼科内科病院から演題を出したいと思っています。

院長 山川 良治

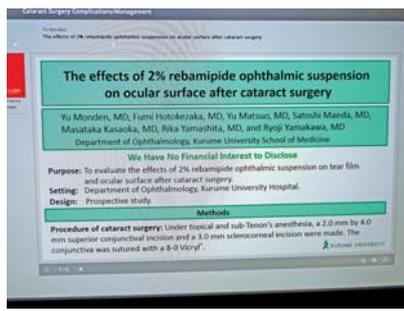


会場はウィーン市内中心部の東隣に位置する大観覧車で有名なプラーター公園近くにあります。

ESCRS側の入り口です。



私の発表した演題



ポスター発表は、紙のポスターを壁に貼付する形式ではなく“ePoster（電子ポスター）”となっておりパソコンで見ます。



広い会場内の雰囲気です。日本を真似てランチセミナー（お昼時にランチをしながら参加出来る短時間のセミナー）がありましたが、お弁当の中身は？…なんとサンドイッチとリンゴと水!!

# ESCRS2018 & EURETINA



器械展示場も広いです。当院に導入したいフェムト秒白内障手術器械 LenSx®の実物も見てきました。

## Photo Diary



両会場間の回廊です。洒落たコーヒーショップがありました。



おまけ  
ウィーンと言えば、カフェです。  
ザッハトルテ(左)とメランジェ(右)



EURETINA側の会場入り口です。



会場は広くスクリーンが3面もありました。

# 子供の近視の進行抑制にバイオレットライト

2016年に鳥居秀成 慶応大医学部助教(眼科学)らのチームが太陽光に含まれている「バイオレットライト(波長が360~400nmの光)」を浴びることで、近視の進行を抑制する遺伝子が活性化し、近視の進行を抑えることが出来るというメカニズムを世界で初めて発見しました。

## 太陽光には紫外線やブルーライトが含まれるけど大丈夫？

紫外線は目や皮膚に与えるダメージがあるため注意が必要ですが、ブルーライトが体に悪影響を及ぼすのは夜に浴びるブルーライトです。

ブルーライトは目に入ると脳内では睡眠ホルモンとも呼ばれる「メラトニン」の分泌を抑制し、体を覚醒モードに切り替えます。ブルーライトを朝浴びると体内時計のズレを修正しますが、夜にスマートフォンやゲーム機などのディスプレイから浴びるブルーライトは、目が疲れるだけでなく、脳が昼間だと判断して体内時計を狂わせ、不眠やうつ、高血圧、肥満、糖尿病リスクなどを高めるといわれています。



## 室内では浴びる事ができないバイオレットライト

バイオレットライトは太陽光には含まれていますが、多くの窓ガラスはバイオレットライトを遮断、蛍光灯やLED ライトにはほとんど含まれていないため、室内ではバイオレットライトを浴びることができません。

外で遊ぶ機会の減っている現代の子供たちはバイオレットライトを浴びる機会が少なくなっているうえに、スマートフォンやタブレットの普及で子供の近視は増加の一途です。

## 1日2時間以上の屋外活動で近視を抑制

鳥居秀成医師は、「近視進行抑制に効果的なのは、1日2時間以上屋外にいること。近視は進行すると失明の原因にもなり得るので、子供には1日2時間以上、バイオレットライトを多く含む太陽光が浴びられる屋外で遊ばせてあげてほしい。成人して近視が落ち着いているようであれば紫外線による影響を考慮し、屋外活動時間を少なくしたり調整していくのが望ましいと思う。」と話されています。

しかしUV カットのメガネは紫外線と一緒にバイオレットライトをカットしてしまうので、メガネを装着しているとバイオレットライトを浴びることができません。そこで昨年夏にメガネレンズメーカーと共同開発したバイオレットライト透過率65%、ブルーライトカット率15%、紫外線カット率92%のメガネレンズが発売されました。現在は自動的に点灯してバイオレットライトを照射するメガネや、バイオレットライトを点灯するLEDライトなどを開発し、これらを利用することで近視抑制効果があるか臨床研究に取り組んでいるそうです。



# 日本臨床眼科学会での講演

副院長 木村 格

日本臨床眼科学会での講演の機会を頂き、平成30年10月12日東京国際フォーラムで行われた第72回 本学会で講演をさせていただきました。この学会は日本全国から眼科医等が集まる大きな学会で、今年は延べ9,200名の参加があり、各会場では多くの講演が行われました。

話をさせていただいたセミナーは非常に盛況で、会場に入れない先生方もいっしょに急遽会場外にモニターが設置されました。

講演の内容は私が現在力を入れている多焦点眼内レンズを用いた白内障手術後の見え方について臨床的に、さらに社会心理学的に満足度について解析した結果です。

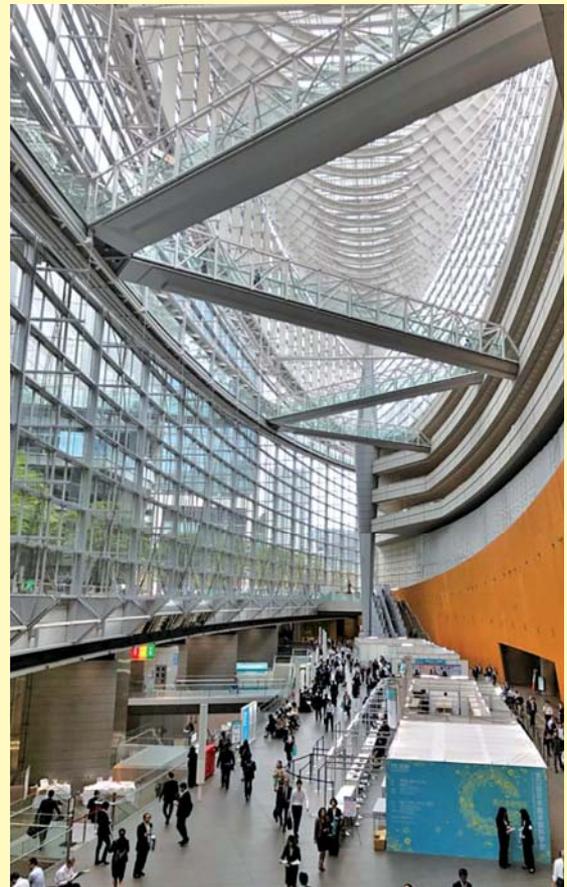
術後に充分視力が改善しているにもかかわらず、時に見え方に不満を持たれる患者様がいらっしゃいます。このことは我々医療側からは理解しにくい状況でした。

今回の研究では人間の不満のメカニズムを解析し、この原因が医療側の不十分な術前説明と患者側の術後の見え方に対する過剰な期待が原因であることがわかりました。

この講演の経験と解析結果を日々の診療に還元し、患者様に視力の改善と満足感を提供できるよう尽力をまいりたいと考えております。



東京国際フォーラム（東京都千代田区）のロビーギャラリー。会場には大小8つのホール、34の会議室があり、東京オリンピックではウエイトリフティングの会場になるそうです。



医療法人社団ひかり会

**木村眼科内科病院**

〒737-0029 広島県呉市宝町3-15

TEL : 0823-22-5544 [代表]

0823-21-1000 [病棟専用・夜間・休日]

FAX : 0823-25-9010

<http://www.kimura-eye.or.jp/>

医療法人社団ひかり会

**焼山木村眼科**

〒737-0935 広島県呉市焼山中央1丁目10-9

TEL : 0823-33-8259

FAX : 0823-33-8279

木村眼科

検索

できます。